

2020 年度 入学 試験 問題

世界史 B

(試験時間 10:30~11:30 60分)

1. この問題冊子が、出願時に選択した科目のものであることを確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙には、記述解答用紙とマーク解答用紙の2種類があります。
3. 解答は、必ず解答欄に記入およびマークしてください。解答欄以外への記入およびマークは無効となります。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。特に、マーク解答用紙には鉛筆のあとや消しくずを残さないでください。
5. 解答用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。また、マーク解答用紙を記述解答用紙の下敷きに使用しないでください。
6. 解答用紙には、必ず受験番号と氏名を記入およびマークしてください。
7. マーク解答用紙への受験番号の記入およびマークは、コンピュータ処理上非常に重要なので、誤記のないようにしてください。
8. 一度記入したマークを修正する場合、しっかりと消してください。消し残しがあると、マーク読み取り装置が反応して解答が無効となることがあります。

I 以下の文章を読み、空欄A～Iに入る最も適切な語句を記述解答用紙に記入し、設問に答えなさい。(50点)

284年に即位した(A)帝は、正帝2人と副帝2人において帝国を分担統治する四帝分治制をつくり、帝国防衛の効率化と反乱の防止をはかった。また元老院議員などの伝統的な政治支配層を帝国統治から遠ざけ、皇帝が独裁的な権限を持つ政体へと移行したが、この政体は帝政初期の元首政と比較して、(B)と呼ばれている。次のローマ皇帝は、再び元老院議員を重用し、330年にはビザンティウムを(C)と改称し、この地にも元老院を設置した。395年にテオドシウス帝が死去すると帝国は東西に分裂し、西ローマはゲルマン民族大移動期に滅亡するが、東ローマは大移動の影響をさほど受けず、以後1000年にわたって存続した。

初期のビザンツ帝国(東ローマ帝国)の皇帝であるユスティニアヌス大帝は、東方の強国(D)朝に対しては守勢をとったが、北アフリカ、イタリア半島、イベリア半島の一部などを奪い、地中海では旧西ローマ帝国領の回復に成功した。ニカの反乱で焼失した(E)聖堂を再建するが、その大聖堂はビザンツ様式の代表的建築物である。トリボニアヌスらに命じて編纂させた(F)は後世への大きな遺産となった。また養蚕技術の導入により可能になった織物は、帝国の戦略物資となった。ユスティニアヌス大帝の下で、ローマの皇帝理念とキリスト教が融合した新しい皇帝理念が誕生し、異教文化根絶の目的で800年以上の伝統を持つアカデメイアを閉鎖した。

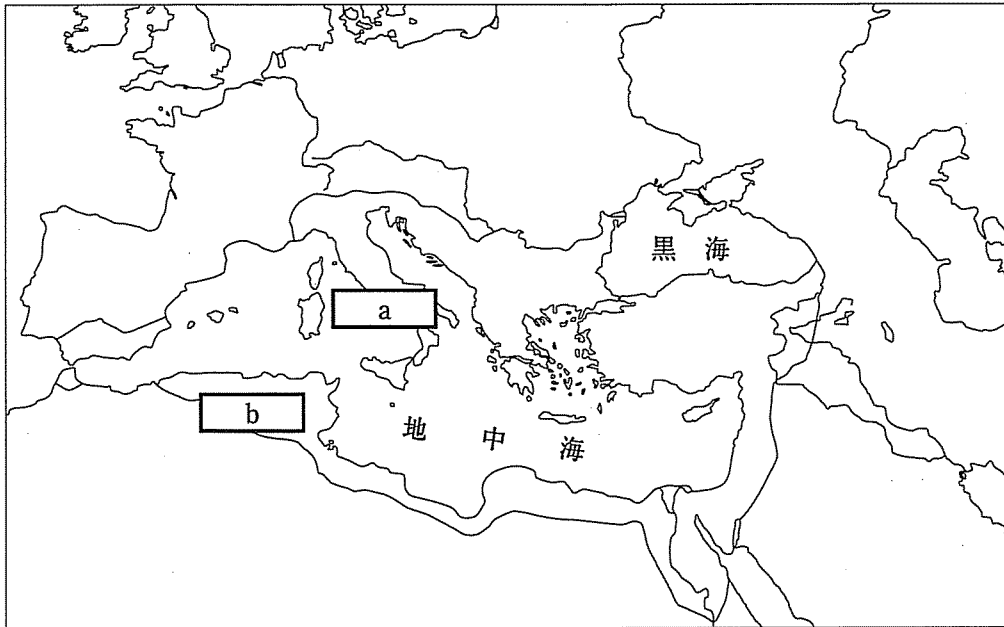
ユスティニアヌス大帝の時代には、古代ローマ帝国のシステムがまだ多く残存していたが、しだいに公用語としてギリシア語が用いられるようになるなど、ビザンツ帝国としての独自の体制も定着してきた。7世紀に入り、(G)帝のもとで、統治機構の強化がはかられ、東方からのイスラーム勢力の軍事圧力に対抗するため、軍管区制(テマ制)が導入された。726年に(H)が発布した聖像禁止令はローマカトリック教会とギリシア正教会とを分裂させるきっかけとなった。9世紀後半にバシレイオス1世によって創始されたマケドニア朝がビザンツ帝国の最も安定した時代

にあたり、莊園中心の西ヨーロッパとは対照的に、東地中海の制海権を維持し、国際商業の中心として繁栄した。

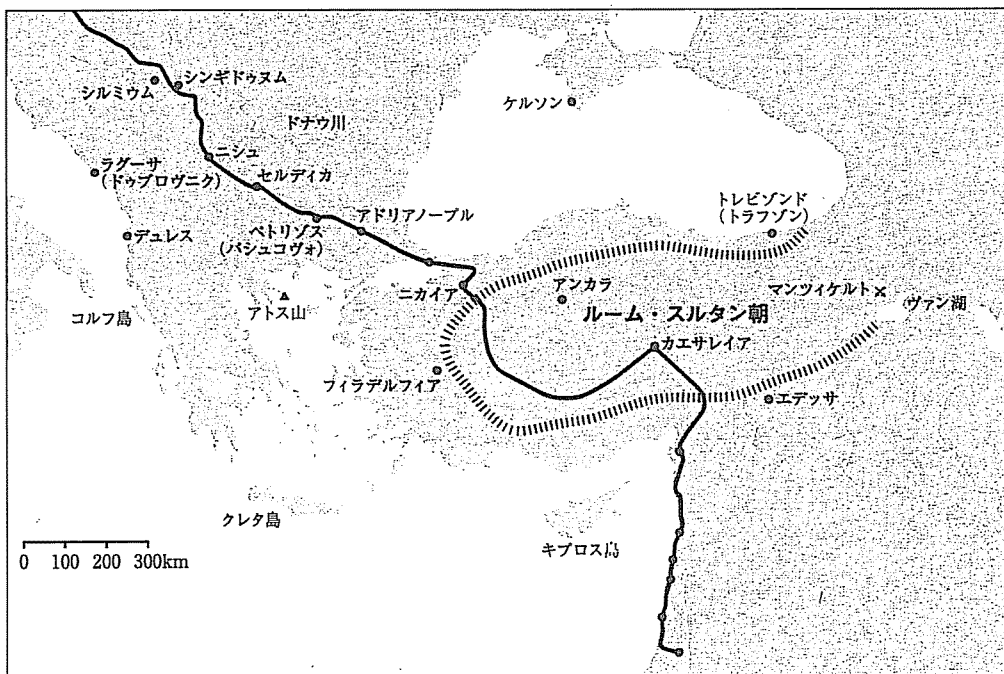
11世紀後半、セルジューク朝の⑦小アジア侵攻により、ビザンツ帝国の弱体化が明らかとなる。皇帝アレクシオス1世はプロノイア制を導入してセルジューク朝に対抗すると同時に、西方世界に援助を要請したが、これが十字軍遠征という結果を招くことになった。1096年から開始されたこの十字軍遠征により、ビザンツ帝国は確かにイスラーム勢力の脅威から脱することはできたが、帝国領が十字軍遠征の通過地となった結果、十字軍の乱暴狼藉や略奪によって逆に苦しめられ、1204年には第4回十字軍によって首都が占領された。そのためビザンツ帝国宮廷は各地を転々とし、1261年になってようやく首都を奪回するが、ビザンツ帝国の衰退を押しとどめることはできず、1453年、オスマン帝国⑧によって滅ぼされた。

ビザンツ帝国滅亡後、ギリシアの地はオスマン帝国の支配を受けた。オスマン帝国の支配下で、ギリシア人はギリシア正教の信仰を認められたが、経済的・政治的には抑圧されていた。19世紀初めになって独立運動が起こり、また西欧諸国内に、ギリシア文明を西欧文明の原点として敬愛する「ギリシア愛護主義」が登場し、独立運動の支援が活発になった。ただし、ウィーン体制⑨の構築に尽力したオーストリアの外相（のち宰相）（ I ）は自由主義・民族主義の高揚に危機を感じ、独立に好意的ではなかった。しかし、ロシア皇帝ニコライ1世が南下政策によるギリシア援助を始めると、一部の西欧諸国⑩も支援を強化し、1827年、ナヴァリノの海戦となった。この海戦でオスマン帝国・エジプト艦隊は全滅し、オスマン帝国はギリシアの独立を認めざるをえなくなった。

地図 1



地図 2



問1 下線部①に関連して、ローマ皇帝とその説明の組み合わせで誤っているものを次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. トラヤヌス帝・・・帝国の最大版図を実現した。
- イ. ネロ帝・・・アウグストゥスと同じ皇帝家に属する皇帝である。
- ウ. マルクス=アウレリウス=アントニヌス帝・・・ギリシア語で『自省録』を著した。
- エ. ユリアヌス帝・・・キリスト教を公認した。
- オ. ウァレンス帝・・・アドリアノーブルの戦いで敗死した。

問2 下線部②に関連して、ゲルマン民族の一派がイギリスで建設した7王国を統一した人物を次から1人選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. エグバート
- イ. アラリック
- ウ. ロロ
- エ. アルフレッド大王
- オ. ジョン王

問3 下線部③に関連して、ユスティニアヌス大帝の時代にビザンツ帝国の総督府がおかれた地で、ユスティニアヌス大帝のモザイク画があるサン=ヴィターレ聖堂の所在地を次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. カルタゴ
- イ. セビリャ
- ウ. ラヴェンナ
- エ. モンテ=カシーノ
- オ. コルドバ

問4 下線部④に関連して、以下の記述のうち誤っているものを1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. 中国から「オアシスの道」で西アジア、地中海世界まで絹が運ばれ、そのルートは「絹の道」とも呼ばれた。
- イ. 徐光啓の著した『天工開物』には、複雑な構造を持つ絹織物の織機である「花機」について解説されている。
- ウ. 絹は、澶淵の盟などの北方遊牧民との講和の際には銀とともに主要な贈答品となった。
- エ. 11～12世紀のイタリアの港市には、東方貿易によって絹織物などの奢侈品がもたらされた。
- オ. 明代後期には生糸や陶磁器が日本やアメリカ大陸、ヨーロッパに輸出され、その対価として流入した銀が中国の商工業発達を促した。

問5 下線部⑤に関連して、イスラーム勢力について誤っているものを次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. ムハンマドはメッカ占領後にカーバをイスラーム教の神殿とした。
- イ. ウマイヤ朝が8世紀初めにダマスクスに建設した現存する最古のモスクであるウマイヤ=モスクは、キリスト教の教会の一部を転用したものである。
- ウ. ハールーン=アッラシードがアレクサンドリアに建設したギリシア語文献を中心とした図書館はムセイオンと呼ばれる。
- エ. アッバース朝では、イスラーム法（シャリーア）に基づく統治が原則とされ、民族を問わないムスリムの平等が実現された。
- オ. グラナダに建てられたナスル朝の宮殿はアルハンブラ宮殿と呼ばれる。

問6 下線部⑥に関連して、ローマ=カトリック教会について誤っているものを次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. メロヴィング家のクロヴィスは、アタナシウス派に改宗した。
- イ. ボニファティウス8世はローマ近郊のアナーニでフランス国王に一時とらえられた。
- ウ. 教皇グレゴリウス7世は、神聖ローマ皇帝ハインリヒ4世を破門した。
- エ. イギリス国王エドワード6世は、国王至上法でカトリック世界から離脱した。
- オ. ロヨラやザビエルらが結成したイエズス会は、カトリック教会の勢力回復に貢献した。

問7 下線部⑦に関連して、セルジューク朝について誤っているものを次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. セルジューク朝の建国者であるトゥグリル=ベクは、1055年ブワイフ朝を倒してバグダードに入城し、アッバース朝のカリフからアミールの称号を得た。
- イ. 1071年にアナトリア（小アジア）東部でビザンツ帝国を破り、後にセルジューク朝の一派がアナトリアでルーム=セルジューク朝の基礎を築いたため、アナトリアのトルコ化・イスラーム化が進んだ。
- ウ. 軍隊をトルコ系遊牧民からマムルーク中心にきりかえた。
- エ. ニザーム=アルムルクはイクター制を整備したほか、主要都市にニザーミーヤ学院を設立した。
- オ. ウマル=ハイヤームはペルシア語で『ルバイヤート（四行詩集）』を著した。

問8 下線部⑧に関連して、オスマン帝国のスレイマン1世について誤っているものを次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. エジプトの王朝を滅亡させ、メッカ・メディナの支配権をえてイスラーム世界における覇権的地位を確保した。
- イ. ハンガリー王国を破って主要地域を支配下におき、さらにウィーンにせまった。
- ウ. イスタンブルにスレイマン=モスクを建造させた。
- エ. フランス王フランソワ1世と同盟関係を築き、西欧諸国に対する圧力を強めた。
- オ. プレヴェザの海戦でスペイン・ヴェネツィア連合艦隊を破り、さらにアルジェリアを属領とし、地中海の制海権を確保した。

問9 下線部⑨に関連して、ウィーン体制について誤っているものを次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. フランスの外相タレーランの主張する正統主義によって、フランスやスペインでブルボン王家が復活した。
- イ. ロシアはイギリス・オーストリア・プロイセンと四国同盟を結んで、発言力を強めた。
- ウ. イギリスは次第にウィーン体制から距離をおくようになり、カニング外相の指導のもと、ラテンアメリカ諸国の独立を支持した。
- エ. スイスが永世中立国となり、ドイツにはプロイセン・オーストリアを含むドイツ連邦が組織された。
- オ. ウィーン体制成立にもかかわらず、ドイツのブルシェンシャフトによる改革要求、イタリアの立憲革命などの反体制運動が起こった。

問10 下線部⑩に関連して、ギリシア独立戦争を支援したロシア以外の国を次から2つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. イギリス
- イ. オランダ
- ウ. プロイセン
- エ. フランス
- オ. スペイン

問11 地図1の ・ に入るビザンツ帝国によって征服されたゲルマン人国家をそれぞれ1つずつ選んで、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. フランク王国
- イ. ブルグンド王国
- ウ. 西ゴート王国
- エ. ヴァンダル王国
- オ. ランゴバルド王国
- カ. 東ゴート王国
- キ. アングロ=サクソン王国
- ク. ヴァルダナ王国
- ケ. 両シチリア王国
- コ. ベーメン王国

問12 地図2の経路で行われた十字軍の時の教皇の名前とこの十字軍によって建設された国家の名前を記述解答用紙に記しなさい。

問13 軍管区制（テマ制）とプロノイア制との違いについて記述解答用紙に100字以内で説明しなさい。

Ⅱ 以下の史料〔A〕・〔B〕・〔C〕を読み、設問に答えなさい。(20点)

史料〔A〕 キャラコ使用禁止法 (1720年3月1日)

一 衣服・家財・その他におけるプリント・彩色・着色・染色されたキャラコの着用と使用は、明らかにこの王国の毛織物工業と絹織物工業にとって非常に有害になっており、貧民増加の原因になっている。(中略) 主の紀元1722年12月25日以降、何人たりとも、プリント・彩色・着色・染色されたキャラコからなる衣装や衣服を、大ブリテンで使用あるいは着用することは非合法とされる。(後略)

二 (前略) 前記1722年12月25日以降はいつでも、呉服商・反物商・室内装飾業者、その他の人々もしくは法人すべてが、プリント・彩色・着色・染色されたキャラコ、あるいはそれらを組み込み、一部に使ったベッド、イス、ソファ、カーテン、そのほかの家財や家具を販売する目的で、商い、流通させ、陳列した場合、前述の人々もしくは法人は、違反するたびに有罪を宣告され、大ブリテンの法定通貨により20ポンドを罰金として支払う。ただし輸出向けであったり、通常、輸出向け販売でなされるように、海外で一括処分される場合には、この限りではない。(後略)

問1 下線部①に関連して、この法律の制定年に最も近い時期にインドで起こった出来事を次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. タージ=マハルが建設された。
- イ. アウラングゼーブが死亡した。
- ウ. アクバルにより非イスラームへの人頭税が廃止された。
- エ. バーブルがパーニーパットの戦いでロディー朝に勝利した。
- オ. プラッシーの戦いが起こった。

問2 下線部②に関連して、この時期の前後にイギリスで起こった次の出来事を古い順に並べた時に2番目と4番目にくるものをマーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. イングランド銀行が創設された。
- イ. ジョージ1世がハノーヴァー朝をひらいた。
- ウ. 権利の章典が制定された。
- エ. ウォルポールが首相となった。
- オ. イングランドとスコットランドが合同して大ブリテン王国となった。

問3 下線部③に関連して、これはイギリス東インド会社の利益を守るためでもあったが、この会社について誤っているものを次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. 18世紀後半にムガル皇帝からベンガル地方の徴税権・司法権を獲得した。
- イ. 東インド会社への茶の独占販売権の賦与によりボストン茶会事件が起こった。
- ウ. 東インド会社がもたらしたインド綿布は奴隷貿易の代価にも用いられた。
- エ. 東インド会社はステュアート朝の時代に設立された。
- オ. 1830年代には東インド会社の中国貿易独占権が廃止された。

史料〔B〕 アーサー・ヤング『農業家が見たイングランド東部』（1771年）

もうじきノーフォークを去るに当たり、農業世界でこの州の名前をあれほど有名にした農法について簡単に紹介しておくことも許されるであろう。（中略）

40年から60年以前、この州の北部と西部の全域と東部の一部は、羊の放牧場であり、1エーカー当たりの価値は6ペンスから、せいぜい1シリング6ペンスか2シリングという低さであった。30年前でも大部分の地域は同じ状態であったが、それから次のような手段で大きな改良がなされてきた。

第一に、（中略）圃い込みがなされたこと。

第二に、^④泥灰土と粘土を巧みに利用したこと。

第三に、すばらしい連作を導入したこと。（後略）

問4 下線部④に関連して、イギリスにおける第1次囲い込みと第2次囲い込みの違いについて記述解答用紙に80字以内で説明しなさい。

史料〔C〕 ジェームズ・オグデンの記録（1783年）

この決定的な部門〔木綿工業〕を獲得したことにより、海外貿易部門において輸出が大いに増加し、大規模な雇用が創出された。その結果わが国の国内企業は、大方が中流階級の製造業者や小商人の下にわたった。しかし、紡績機械^⑤が導入されることがなかったら、製造業者や労働者がいくら努力しても、通商の需要に応えることはできなかっただろう。

初めのころ、紡績機械は、わが国の人々によって限られた規模で使用されていたに過ぎない。初期には12の紡錘〔を備えること〕^{ぼうすい}が大事業であると思われた。それを扱うにはひどく慎重な気構えが必要であったので、普及は困難であった。その一方で、人々はかなりの驚きをもって、次のことを認めたのである。9歳から12歳にかけての子どもが器用に機械を操り、以前は負担をかけていた家計を豊かにした。^⑥（後略）

問5 下線部⑤に関連して、産業革命期の出来事として誤っているものを次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. ハーグリーブズがジェニー紡績機を発明した。
- イ. カートライトが力織機を発明した。
- ウ. ワットが蒸気機関車を実用化した。
- エ. アークライトが水力紡績機を発明した。
- オ. ジョン=ケイが飛び杼（飛び梭）を発明した。

問6 下線部⑥に関連して、18世紀後半以降のイギリスの工場労働について誤っているものを次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. 1810年代に機械化で失業した職人たちのラダイト運動が頂点をむかえた。
- イ. 1800年代以降に児童労働の保護を目的とする法律が何回か制定された。
- ウ. 1799年に団結（結社）禁止法が制定された。
- エ. 1830年代後半に男性労働者の政治参加を求めるフェビアン協会が結成された。
- オ. 1830年代前半に総括的・一般的な工場法が制定された。

Ⅲ 以下の文章を読み、空欄A～Fに入る最も適切な語句を記述解答用紙に記入し、設問に答えなさい。(30点)

フランスは美食の国として知られる。エスカルゴ、フォアグラ、マカロンなどの代表的なフランスの食べ物の名前がすぐに浮かぶ者もいるかもしれない。

現在のフランスの直接の起源は、9世紀の西フランク王国にさかのぼる。これはヴェルダン条約と(A)条約によってフランク王国が分裂してできた王国の1つであった。しかし、西フランク王国の始祖シャルル2世の後を継いだルイ5世の死によって、早くも10世紀末にはカロリング家の血統が断絶してしまう。結局、パリ伯であったユーグ=カペーが王位についてカペー朝が成立し、フランス王国といわれるようになった。だが、カペー朝の力はパリや(B)とその周辺に限定されており、諸侯の力が強かった。

フランス王国は、フランク王国の時代以来のキリスト教国である。当時キリスト教会は、傲慢、貪欲、淫乱、怒り、大食、嫉妬、怠惰を七大悪徳として戒めていた。これを定めたのは、ローマ教皇グレゴリウス1世であったとされる。「大食」への批判は美食への批判にもつながるが、ヨーロッパのケーキの起源は、キリスト教の儀式で献納された「ウーブリ」や「ニウール」という菓子であったといわれている。これらの菓子は、最初は甘くなかったが、後にハチミツが加えられて甘い菓子が誕生する土台となった。

11世紀末、(C) 宗教会議におけるローマ教皇の呼びかけによって第1回十字軍がイェルサレムへの遠征を行い、いわゆる十字軍の時代が幕をあけた。この時代は、第7回十字軍を率いた(D) が北アフリカのチュニスで病死した後、13世紀中に幕を閉じることになる。十字軍はキリスト教勢力とイスラーム勢力の間の戦争であったが、それによってアラブ世界からヨーロッパ世界へ砂糖、香辛料、シトロン(レモン)のジャム、砂糖漬け果物などが入ってくる契機ともなった。また、ハチミツと小麦粉(あるいはライ麦粉)でつくったパンに香辛料の香りをつけた「パン・デピス」というケーキも、14～15世紀ごろに広まっていったという。さらに果物やチーズを用いた「タルト」は、中世の農村および都市における最も一般的な菓子だった。これを原型として、現在のフランスでは「タルト・タタン」(リンゴのタルト)

などのタルトが定番のデザートとなっている。

中世には外交政策の一環として外国と姻戚関係を結ぶことがしばしば行われた。フランス菓子の発展からみると、(E) 朝のフランソワ 1 世の息子アンリ (後のアンリ 2 世) とフィレンツェの^②カトリーヌ=ド=メディシスの結婚が重要である。彼女の嫁入りの際に、シャーベットがイタリアからフランスに伝わったとされている。その後、ルイ 14 世の時代あたりからクリームに砂糖と香料を混ぜて冷やしたアイスクリームがつくられ、上流階級の間で食されるようになったという。

もう 1 つ、王家の婚姻によってフランスにもたらされたものにチョコレートがある。メキシコではすでに紀元前 2000 年ごろからカカオ豆を栽培し、神事の飲み物にして^③いた。アステカ人はこのカカオ豆を砕いてすりつぶし、それに唐辛子を入れて辛い飲み物にするのが一般的であった。ところがスペイン人は、アメリカから入ってきたこのココアに砂糖を入れることを思いつく。スペイン王室は当初、この甘いココア (チョコレート) を門外不出の秘密にしていたが、1615 年にスペインの王女がフランスの^④ルイ 13 世に嫁いだ結果、甘いココアを飲む習慣はフランスの王室や貴族にも広まった。フランスの啓蒙思想家^⑤ヴォルテールは、チョコレート入りのコーヒーを 1 日に何杯も飲んでいたらしい。このように、チョコレートは当初は飲むものであったが、17 世紀後半のイギリスで固形のチョコレートがつくられ、その後さまざまなチョコレート菓子がつくられるようになる。

前述のように、砂糖がフランスに入ってきたのは十字軍をつうじてであった。しかし、砂糖の価格が低下して多くの者が砂糖を入手できるようになるのは 17 世紀半ば以降であった。その中心になったのが、大西洋のアンティル諸島 (西インド諸島) の^⑥プランテーションにおいて奴隷を用いて生産される砂糖である。そして 18 世紀前半以降、ヨーロッパへのフランス植民地産の砂糖の流入量増加と価格低下により、フランスとイギリスの対立が強まった。^⑦18 世紀半ばごろからの両国間の戦争は、アンティル諸島と砂糖の支配権をめぐる対立を背景としたものでもあった。

ルイ 16 世と結婚するためにオーストリアから^⑧輿入れしてきた (F) は、大のお菓子好きとして知られる。オーストリアやポーランドで昔から知られていた「クグロフ」という菓子は、彼女とともにフランスに伝えられ、18 世紀後半に大流行した。フランス革命の際に彼女がルイ 16 世とともに断頭台の露と消えると、貴族の多くが

没落する一方で、市民の中には富裕になる者も出てくる。この時、貴族の館に勤めていた料理人たちは別の貴族の館に再就職先を見出そうとしたが、それがかなわない場合には、街中に自分の店を出そうとした。こうして、パリを中心にレストランや菓子店が増えていく。パティシエと呼ばれる菓子職人たちは、現在もみられる菓子類を考案した。19世紀初めに考案されたとされる「ミルフィーユ」や、リヨンで19世紀半ばに考案されたといわれる「エクレー」(エクレア)はその代表例といえるであろう。

問1 下線部①に関連して、グレゴリウス1世について正しいものを次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. ローマ=カトリック教会から初代の教皇とされた。
- イ. ローマに侵攻してきたアッティラと会見した。
- ウ. ゲルマン人への布教に努めた。
- エ. カール大帝にローマ皇帝の帝冠を与えた。
- オ. 神聖ローマ皇帝オットー1世の支援を得て選出された。

問2 下線部②に関連して、彼女とその時代に起こったユグノー戦争について誤っているものを次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. 彼女は息子であるシャルル9世の摂政となった。
- イ. ユグノーとはカルヴァン派の新教徒勢力を指す。
- ウ. サンバルテルミの虐殺ではカトリック派がユグノー派を襲撃・虐殺した。
- エ. ユグノー戦争ではカトリック派をイギリスが支援した。
- オ. ユグノー戦争はアンリ4世によるナントの王令によって終結した。

問3 下線部③に関連して、前1200年までにメキシコ湾岸に成立し、特殊な絵文字と聖獣ジャガーの信仰で知られる文明を次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. トルテカ文明
- イ. マヤ文明
- ウ. テオティワカン文明
- エ. インカ文明
- オ. オルメカ文明

問4 下線部④に関連して、ルイ13世のもとで宰相を務めた人物を次から1人選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. コルベール
- イ. リシュリユー
- ウ. ティエール
- エ. ネッケル
- オ. テュルゴー

問5 下線部⑤に関連して、ヴォルテールの著作を次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. 『法の精神』
- イ. 『人間不平等起源論』
- ウ. 『経済表』
- エ. 『社会契約論』
- オ. 『哲学書簡』

問6 下線部⑥に関連して、西アフリカ出身の黒人奴隷による砂糖プランテーションが行われ、1804年にフランスから独立した国を次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. ハイチ
- イ. キューバ
- ウ. ジャマイカ
- エ. ドミニカ
- オ. プエルトリコ

問7 下線部⑦に関連して、アメリカ独立戦争について誤っているものを次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. 独立戦争にはポーランドのピウスツキらの外国人も参加した。
- イ. 独立宣言はトマス=ジェファソンらによって起草された。
- ウ. イギリスはヨークタウンの戦いに敗れ、パリ条約でアメリカの独立を承認した。
- エ. トマス=ペインの『コモン=センス』は独立の推進力の1つとなった。
- オ. エカチェリーナ2世による武装中立同盟はアメリカに有利に働いた。

問8 下線部⑧に関連して、次の出来事を古い順に並べた時に2番目と4番目にくるものをマーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. 国民公会が王政の廃止と共和政の樹立を宣言した。
- イ. 国民議会在が封建的特権の廃止を決定した。
- ウ. ジロンド派が政権を握ってオーストリアに宣戦布告した。
- エ. ジャコバン派が優勢になり、ルイ16世が処刑された。
- オ. 人権宣言が採択された。